miratap

サイズオーダー収納

フレッタ

組立設置説明書　05-FLT01S-00

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

禁止　実行　注意
お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。

警告　「死亡または重傷を負うおそれがある」内容

分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。

キャビネットに乗ったりぶら下がったりしないでください。
外側のパネルは壊れやすく、破損やケガをするおそれがあります。

キャビネットの設置は、建築壁の構造・下地を確かめて組立設置説明書どおり正しくおこなってください。
落下してケガをするおそれがあります。

キャビネットを取り付ける壁面に、荷重に耐えられる取付桟や下地があることを確認してください。
強度が弱いと、キャビネットが落下し、ケガをするおそれがあります。

注意　「傷害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容

棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。
棚板が落下し、ケガをするおそれがあります。

キッチンや洗面付近等の水回り付近に設置する際は、キャビネットと壁面の設置面にコーキング処理をおこなってください。
キャビネットのふくれや腐食につながります。

組立設置完了後は、扉のガタつきやスライドヒンジのゆるみのないことを必ず確認してください。
落下してケガをするおそれがあります。

設置の仕上げに使用する溶剤・その他薬品類は各注意表示に従って正しくお使いください。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になることがあります。

組立設置・調整時には必ず保護手袋を着用してください。
ケガをするおそれがあります。

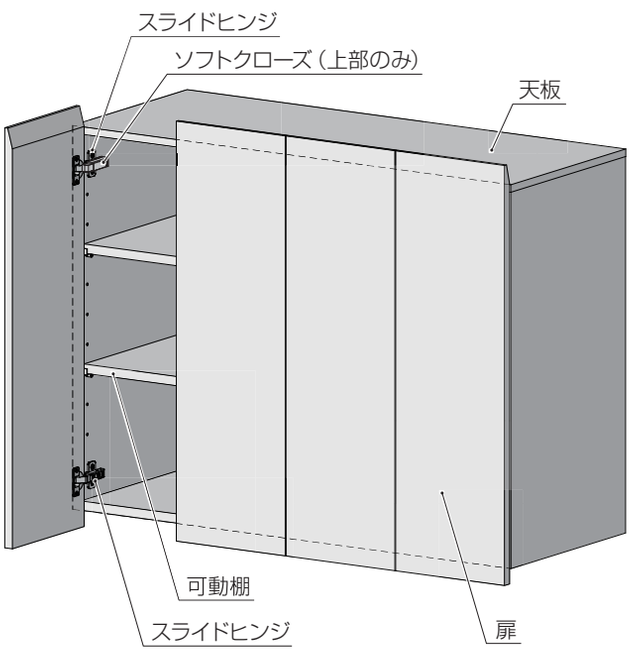
組立時は、養生した床で組み立ててください。
商品が傷付くおそれがあります。

扉などの調整時には、必ず作業用手袋を着用してください。
ケガをするおそれがあります。

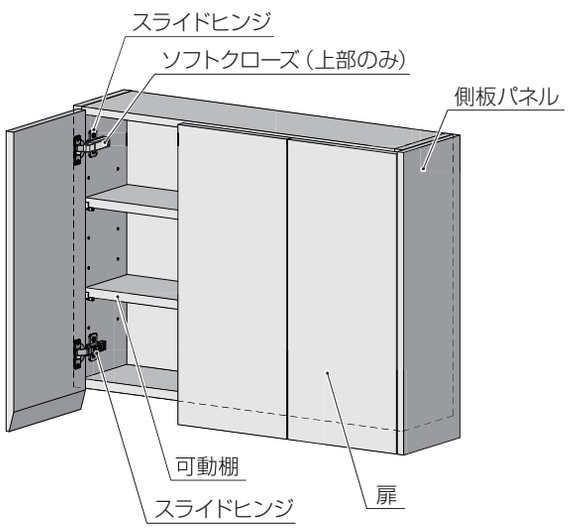
1 各部の名称

◎フレッタ〈タイプ例〉

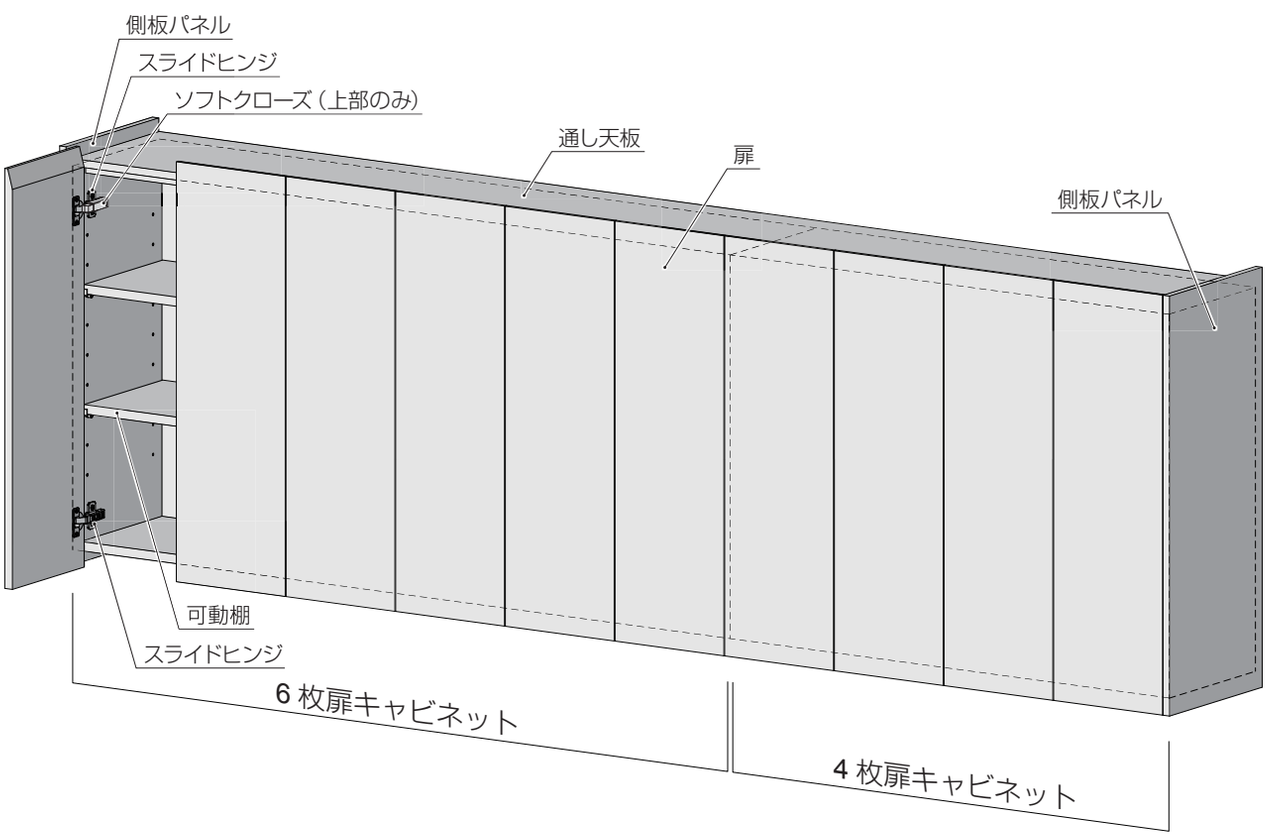
標準タイプ 4 枚扉 H840 × D430 側板パネルなし



天袋タイプ 3 枚扉 H600 × D200 側板パネル片側



連結仕様 10 枚扉（標準タイプ）H840 × D330 側板パネル両側



● 棚板（底板）の耐荷重

耐荷重については、下記の重量をお守りください。
1 枚につき　8kg まで

● 天板の耐荷重

	D200	D300	D430
2 ～ 6 枚扉（550 ～ 1829mm）	8kg	10kg	15kg
7 ～ 10 枚扉（1830 ～ 2600mm）	16kg	20kg	30kg

■ キャビネットの重量（以下を目安としてください。）　※ 梱包材含む

標準タイプ		H600			H840		
		D200	D330	D430	D200	D330	D430
2 枚扉 W550 ～ W779	キャビネット	13.2kg	19.8kg	24.8kg	15.6kg	23kg	28.7kg
	扉	7.1kg			9.4kg		
3 枚扉 W780 ～ W1059	キャビネット	17.8kg	27.2kg	34.4kg	21kg	31.4kg	40kg
	扉	9.5kg			13kg		
4 枚扉 W1060 ～ W1319	キャビネット	20kg	31kg	40.5kg	24kg	36.3kg	45.6kg
	扉	11.7kg			15.6kg		
5 枚扉 W1320 ～ W1579	キャビネット	24.7kg	38.4kg	48kg	28.5kg	44kg	55.5kg
	扉	13.8kg			18.5kg		
6 枚扉 W1580 ～ W1829	キャビネット	27.6kg	42kg	54kg	31.5kg	48.5kg	61.5kg
	扉	15.8kg			21.1kg		

通し天板 ※ 標準タイプ連結仕様のみ	D200	D330	D430
7 枚扉　W1830 ～ W2089	5.2kg	8.5kg	11.1kg
8 枚扉　W2090 ～ W2349	6kg	9.6kg	12.5kg
9 枚扉　W2350 ～ W2599	6.5kg	10.6kg	13.8kg
10 枚扉　W2600	6.5kg	10.6kg	13.8kg

天袋タイプ		H605			H845		
		D200	D330	D430	D200	D330	D430
2 枚扉 W550 ～ W779	キャビネット	13.5kg	20kg	25.3kg	16kg	23.3kg	29.1kg
	扉	7.2kg			9.7kg		
3 枚扉 W780 ～ W1059	キャビネット	17kg	26kg	34kg	21.1kg	32kg	40.2kg
	扉	9.6kg			13kg		
4 枚扉 W1060 ～ W1319	キャビネット	20.1kg	31.4kg	40.2kg	24.3kg	37kg	46.5kg
	扉	11.6kg			15.4kg		
5 枚扉 W1320 ～ W1579	キャビネット	23.2kg	38kg	47.8kg	29kg	44.4kg	56.4kg
	扉	13.6kg			18.7kg		
6 枚扉 W1580 ～ W1829	キャビネット	26kg	41.7kg	53.7kg	32kg	49.2kg	63.4kg
	扉	16kg			21.1kg		

■ 側板パネルの重量

側板パネル	H600 / 605			H840 / 845		
	D200	D330	D430	D200	D330	D430
片側	1.7kg	2.5kg	3.1kg	2.3kg	3.4kg	4.2kg
両側	3.3kg	4.9kg	6.2kg	4.5kg	6.7kg	8.4kg

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

● 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受け取りの準備をお願い致します。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず **2 人以上**で手運びにて行ってください。
※ 車上渡しとなります。

● 商品の搬入経路を確保してください。

● 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。

※ 設置後の損傷は保証対象外となります。

● 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

● 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度がでていないと仕上げが悪くなり使用時の安全性にも影響します。

● 壁面にたわみや歪みがなく、フラットであること

● 窓枠や建具の位置および寸法

● 取付用下地の位置および寸法（桟木 45mm × 150mm 以上の強度のある硬い木材または 12mm 以上の合板）
※ プラスターボード裏に取付下地が入る場合は、12.5mm 以下のプラスターボードをご使用ください。

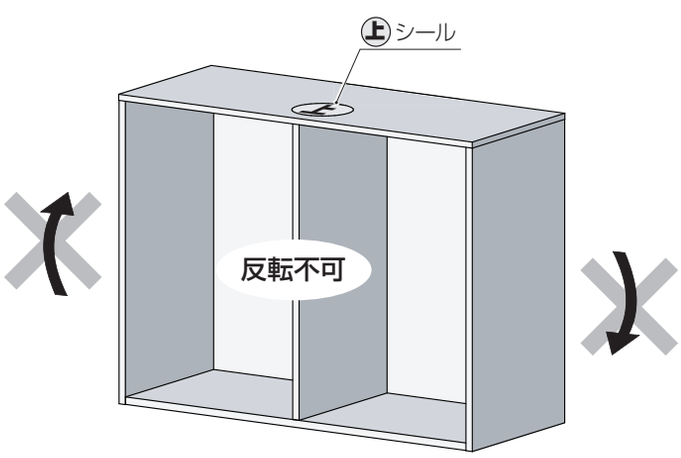
● キャビネットを取り付ける際は、壁との左右の隙間（クリアランス）が合計 5mm 以上（片側 2.5mm 以上ずつ）になるようにしてください。

● キャビネットを取り付ける際は、巾木などに干渉しないことをご確認ください。

キャビネットを取り付ける取付用下地（桟木 45mm × 150mm 以上または 12mm 以上の合板）が指定どおりに使用されていることを確認してから取り付けてください。
（取付用桟木に十分なねじ保持力がないと、使用中に落下し、ケガをするおそれがあります）

《キャビネットの取り付け向き》

● 本製品は上下の向きがあります。必ず「上」シールが貼ってある方を上にして取り付けてください。

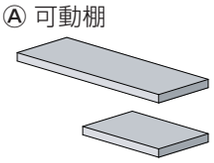


《部材・同梱物の確認》

梱包は、**キャビネット・扉・通し天板**（標準タイプの連結仕様のみ）・**追加可動棚**（オプション）
・**側板パネル**（オプション）の部材で分かれています。

■ 同梱物の種類

Ⓐ 可動棚



・大❶
・大❷
・大❸
・小

※ 幅の広い（大❶、❷、❸）と、幅の狭い（小）があります

Ⓑ ねじセット（大）



・皿木ねじ φ 4.5 × 56
・ワッシャ
・ねじキャップ

※ キャビネット取付用

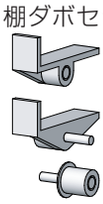
Ⓒ ねじセット（小）



・皿木ねじ φ 3.8 × 32
・ワッシャ
・ねじキャップ

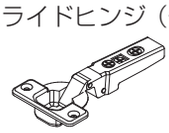
※ キャビネット連結用 / 通し天板取付用 / 側板取付用

Ⓓ 棚ダボセット

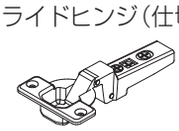


・棚受（左前）
・棚受（右前）
・棚受（後）× 2

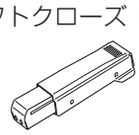
Ⓔ スライドヒンジ（側板用）



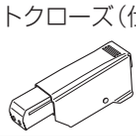
Ⓕ スライドヒンジ（仕切板用）



Ⓖ ソフトクローズ（側板用）



Ⓗ ソフトクローズ（仕切板用）



Ⓘ 丁番取付ねじ



Ⓙ バンポン



Ⓚ バンポン用ワッシャ



■ 部材別 同梱物の個数 / セット数

（※1）予備のねじセットが含まれていますので、余る場合があります。

	本体 W 寸法												
	550 〜 749 (2 枚扉)	750 〜 1059 (3 枚扉)	1060 〜 1319 (4 枚扉)	1320 〜 1579 (5 枚扉)	1580 〜 1829 (6 枚扉)	1830 〜 2089 (7 枚扉)		2090 〜 2349 (8 枚扉)		2350 〜 2599 (9 枚扉)		2600 (10 枚扉)	
キャビネット（標準タイプ）	2枚扉用	3枚扉用	4枚扉用	5枚扉用	6枚扉用	3枚扉用	4枚扉用	4枚扉用	4枚扉用	4枚扉用	5枚扉用	4枚扉用	6枚扉用
Ⓐ 可動棚	大：2	大：2 小：2	大：4	大❶：2 大❷：2 小：2	大❶：4 大❷：2	大❶：2 小：2	大❷：4	大：4	大：4	大❶：4	大❷：2 大❸：2 小：2	大❶：4	大❷：4 大❸：2
Ⓑ ねじセット（大） ・キャビネット取付用	8 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）
Ⓒ ねじセット（小） ・キャビネット連結用 ・通し天板取付用						8 （※1）	12 （※1）	12 （※1）	12 （※1）	12 （※1）	12 （※1）	12 （※1）	12 （※1）
Ⓓ 棚ダボセット	2	4	4	6	6	4	4	4	4	4	6	4	6

キャビネット（天袋タイプ）	2枚扉用	3枚扉用	4枚扉用	5枚扉用	6枚扉用	3枚扉用	4枚扉用	4枚扉用	4枚扉用	4枚扉用	5枚扉用	4枚扉用	6枚扉用
Ⓐ 可動棚	大：2	大：2 小：2	大：4	大❶：2 大❷：2 小：2	大❶：4 大❷：2	大❶：2 小：2	大❷：4	大：4	大：4	大❶：4	大❷：2 大❸：2 小：2	大❶：4	大❷：4 大❸：2
Ⓑ ねじセット（大） ・キャビネット取付用	8 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）	16 （※1）
Ⓒ ねじセット（小） ・キャビネット連結用						4 （※1）	4 （※1）	4 （※1）	4 （※1）	4 （※1）	4 （※1）	4 （※1）	4 （※1）
Ⓓ 棚ダボセット	2	4	4	6	6	4	4	4	4	4	6	4	6

（※2）天袋タイプにワッシャは入っていません。

		本体 W 寸法												
		550 〜 749（2 枚扉）	750 〜 1059（3 枚扉）	1060 〜 1319（4 枚扉）	1320 〜 1579（5 枚扉）	1580 〜 1829（6 枚扉）	1830 〜 2089（7 枚扉）		2090 〜 2349（8 枚扉）		2350 〜 2599（9 枚扉）		2600（10 枚扉）	
部材	**扉**	2	3	4	5	6	3	4	4	4	4	5	4	6
同梱物	Ⓔ スライドヒンジ（側板用）	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	Ⓕ スライドヒンジ（仕切板用）		2	4	6	8	2	4	4	4	4	6	4	8
	Ⓖ ソフトクローズ（側板用）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	Ⓗ ソフトクローズ（仕切板用）		1	2	3	4	1	2	2	2	2	3	2	4
	Ⓘ スライドヒンジ取付ねじ	8	12	16	20	24	12	16	16	16	16	20	16	24
	Ⓙ バンポン	4	6	8	10	12	6	8	8	8	8	10	8	12
	Ⓚ バンポン用ワッシャ（※2）	2	3	4	5	6	3	4	4	4	4	5	4	6

部材	**通し天板**						1 枚

■ オプション部材別 同梱物の個数 / セット数

部材	**可動棚（オプション）**	大：1	大：1 小：1	大：2	大❶：1 大❷：1 小：1	大❶：2 大❷：1	大❶：2 大❷：1 小：1	大：4	大❶：2 大❷：1 大❸：1	大❶：2 大❷：2 大❸：1
同梱物	Ⓓ 棚ダボセット	1	2	2	3	3	4	4	6	5

		片側	両側
部材	**側板パネル（オプション）**	1	2
同梱物	Ⓒねじセット（小）・側板取付用	4（※1）	8（※1）

3 設置手順

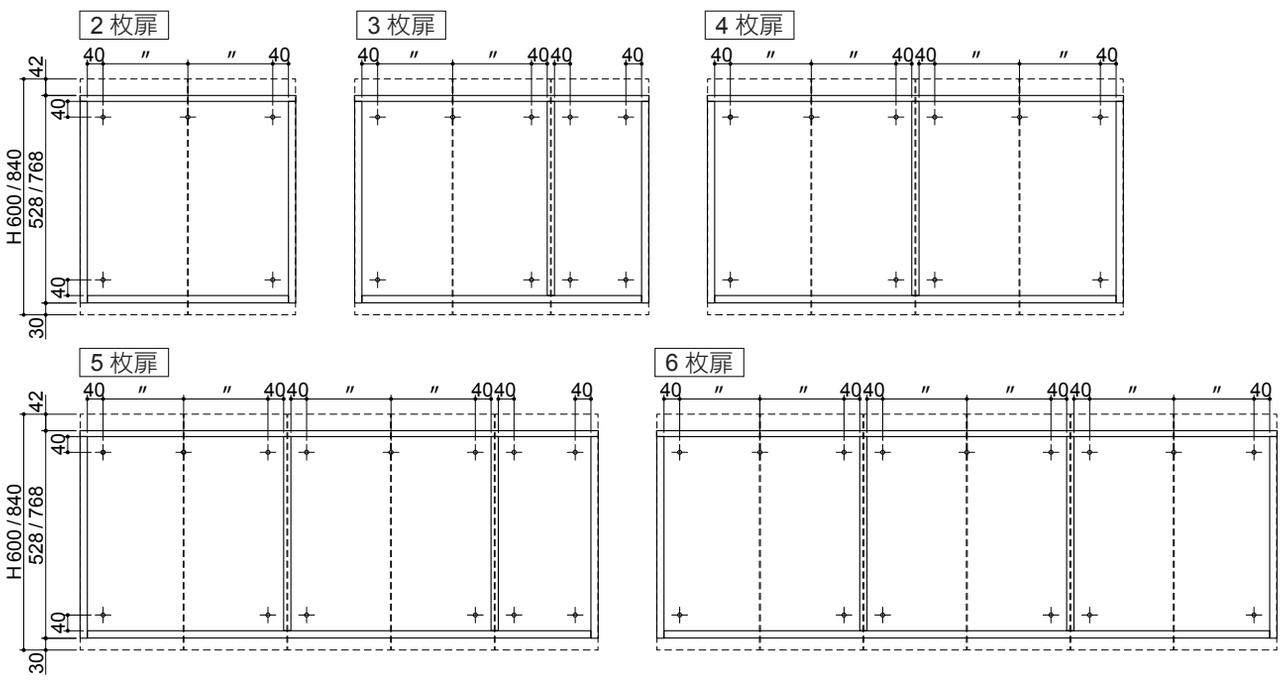
○ 扉を取り付ける前にキャビネットの設置作業を行ってください。また扉に汚れやキズが付かないよう養生をして保管してください。
○ ねじ固定は、締めすぎによる空まわりをしないようにしてください。

■ キャビネット下穴位置一覧

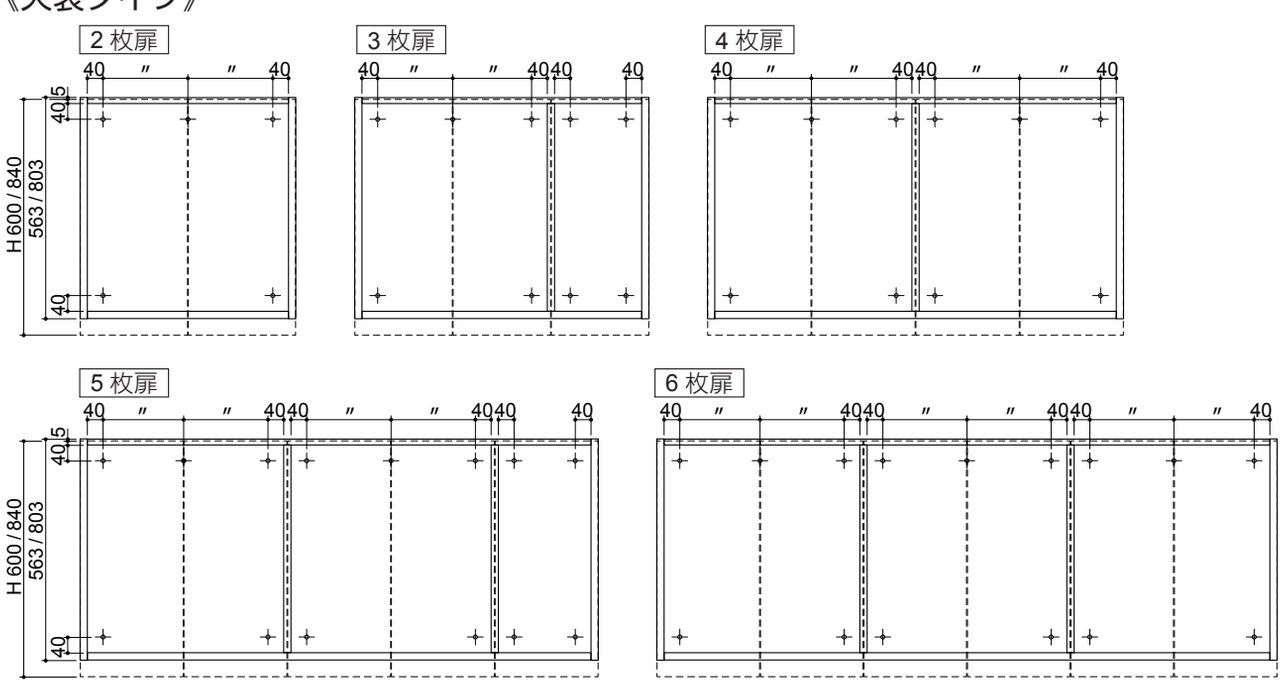
使用ねじ：皿木ねじ φ 4.5 × 56

※ 下穴位置（背板）

《標準タイプ》



《天袋タイプ》



1. キャビネットの設置

○　ねじを使用する際はワッシャとねじキャップを必ず使用してください。
（連結時、ワッシャを使用しないで固定した場合、ねじが突き抜ける可能性があります）
○　ねじを取り付ける際は、指示した場所に必ず下穴をあけ、ねじを取り付けてください。

【標準タイプの場合】

❶ キャビネットの墨出し・下穴加工

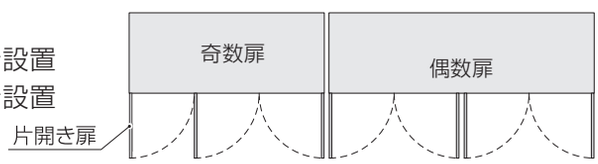
① 取付用墨出し
仕上がり床面を基準に、キャビネットの下端（または上端）の位置に墨出しをおこなってください。

② 壁面固定用下穴加工
キャビネットの背板に壁固定用ねじの下穴を開けてください。必ず下穴の位置に背板の芯材があることを確認してください。
※ 下穴位置はキャビネット下穴位置一覧（***P9***）をご確認ください。

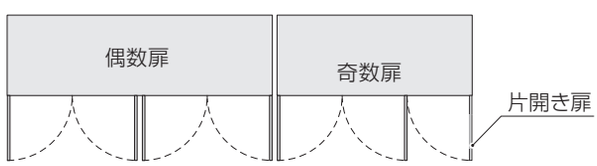
《7 ～ 10 枚扉（連結）の場合》

● 7、9 枚扉の場合、2 台のキャビネットの取付位置は、下記をご確認ください。

片開き扉を「左端」にする場合
・左側：奇数扉用キャビネットを設置
・右側：偶数扉用キャビネットを設置



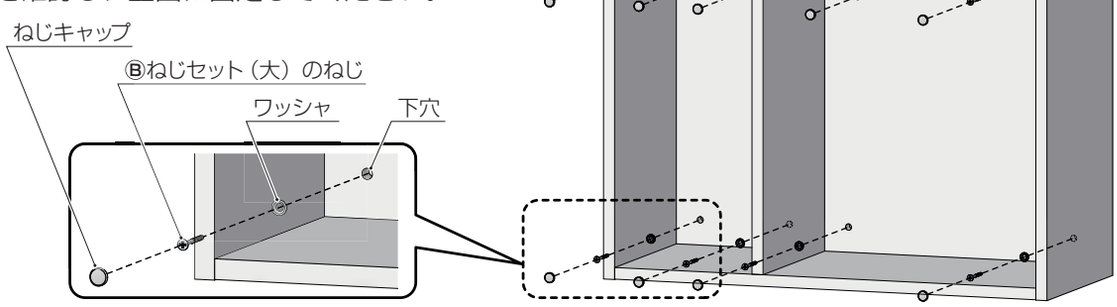
片開き扉を「右端」にする場合：
・左側：偶数扉用キャビネットを設置
・右側：奇数扉用キャビネットを設置



● 8、10 枚扉の場合は、左右どちらに設置しても片開きは発生しません。

❷ キャビネットの壁固定（キャビネット 1 台目）

Ⓑねじセット（大）のねじに付属のワッシャを通してキャビネット壁面に固定し、ねじキャップを被せて仕上げてください。
※ ワッシャとねじキャップは必ず使用してください。
※ 必ずキャビネットの下穴位置に 背板の芯材があることを確認し、壁面に固定してください。



キャビネットを取り付ける際は、壁との左右の隙間（クリアランス）が合計 5mm 以上（片側 2.5mm 以上ずつ）になるようにしてください。

❸ キャビネットの連結固定･壁固定（キャビネット 2 台目）※《7 ～ 10 枚扉（連結）の場合》

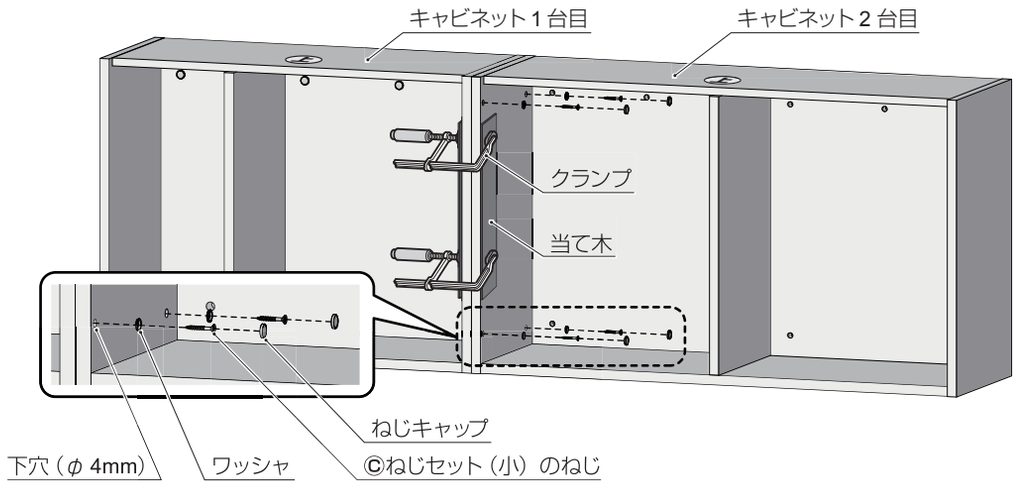
① 2 台目のキャビネットの側板（内側）から、連結用の下穴をあけてください。

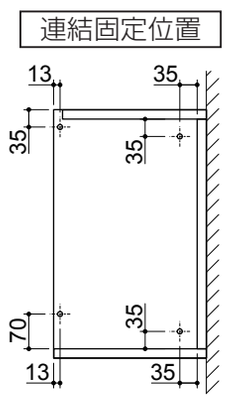
② 1 台目と 2 台目のキャビネットを並べ、全体の取付位置と調整を行います。
※ キャビネットの配置や左右の順序は（***P10***）「**《7 ～ 10 枚扉（連結）の場合》**」を参照し、片開き扉がご希望の位置（左右）になっているか必ずご確認ください。

③ 連結時にずれないよう、キャビネット同士をクランプでしっかりと固定してください。
※ 表面を保護するため、クランプと側板の間に当て木や保護シートを挟んでください。

④ Ⓒねじセット（小）のねじに付属のワッシャを通してキャビネット同士を連結し、ねじキャップを被せて仕上げてください。
※ ワッシャとねじキャップは必ず使用してください。

⑤ 2 台目のキャビネットを 1 台目のキャビネットと同じように、Ⓑねじセット（大）で壁固定してください。





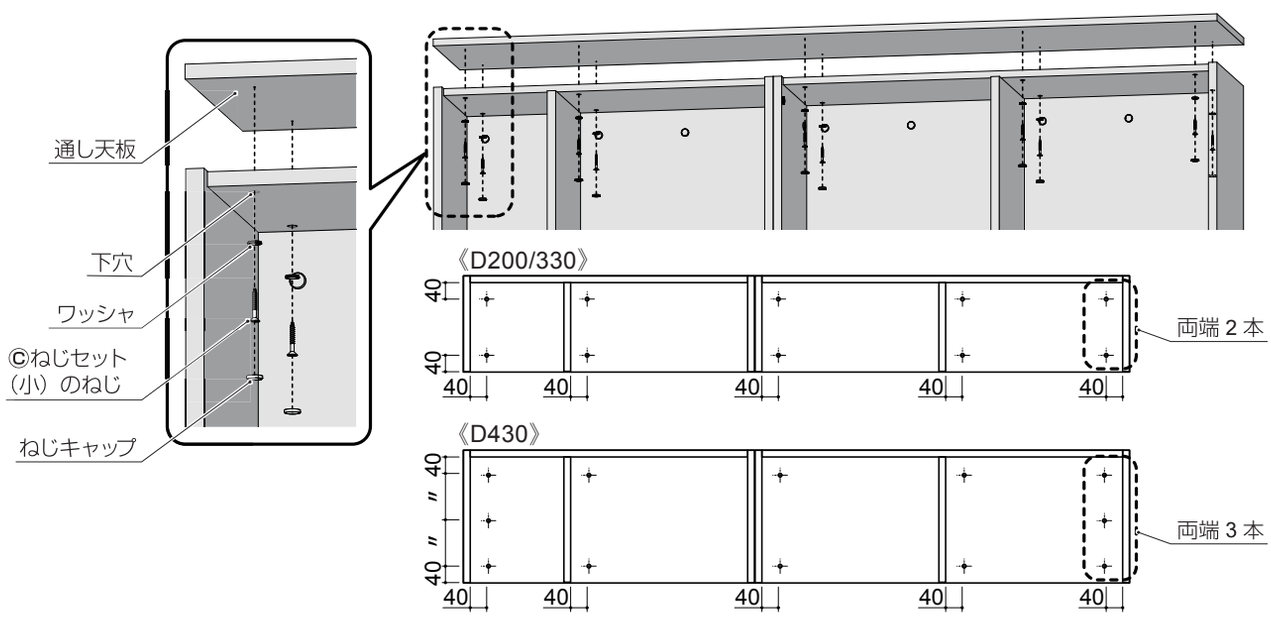
❹ 通し天板固定　※《7 ～ 10 枚扉（連結）の場合》

① キャビネットの天板裏（内側）から下穴をあけてください。

② キャビネットの上に通し天板を載せ、全体の取付位置を調整してください。

③ 位置が決まったら、作業中に通し天板とキャビネットの天板がズレないようクランプでしっかりと固定してください。
※表面を保護するため、クランプと天板の間に当て木や保護シートを挟んでください。

④ 付属のワッシャを通したねじで下から固定し、ねじキャップを被せて仕上げてください。
※ワッシャとねじジキャップは必ず使用してください。

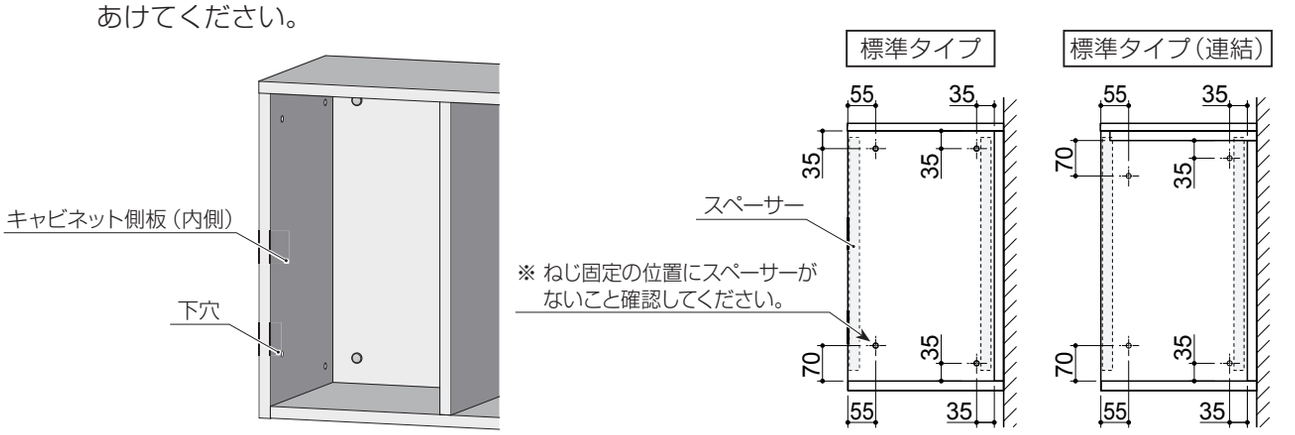


❺ 側板パネル取付け（※ 側板パネル付の場合）

① 側板パネル固定用の下穴加工

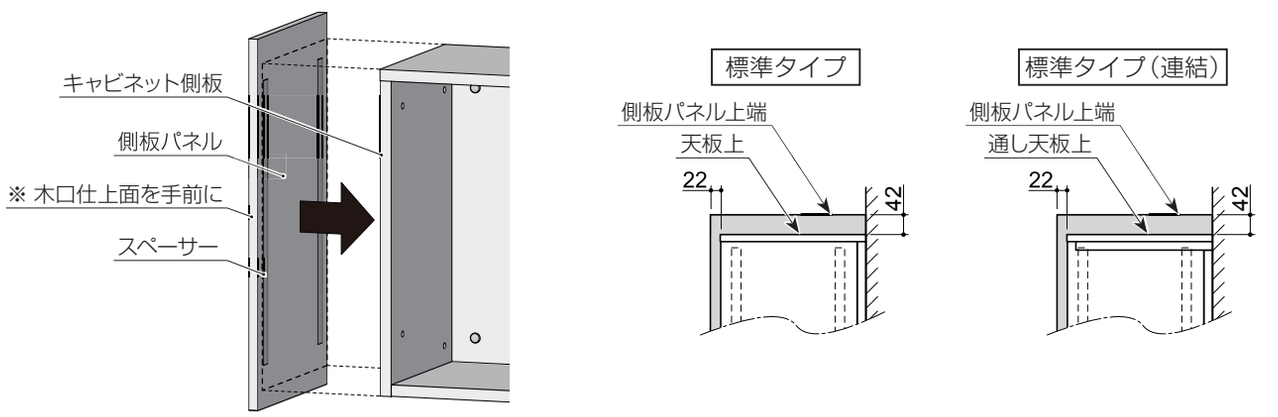
キャビネット側板（内側）から、側板パネル固定用の下穴をあけてください。

※ 下穴は側板パネルに貼付けられたスペーサーを避けてください。下図を確認し、正しい位置にあけてください。



② 側板パネルの位置調整

キャビネット側板に側板パネルを添えて（※ 側板パネルの木口仕上面が手前にくるように）、天板、通し天板の上から側板パネルの上端まで 42mm になるように調整してください。



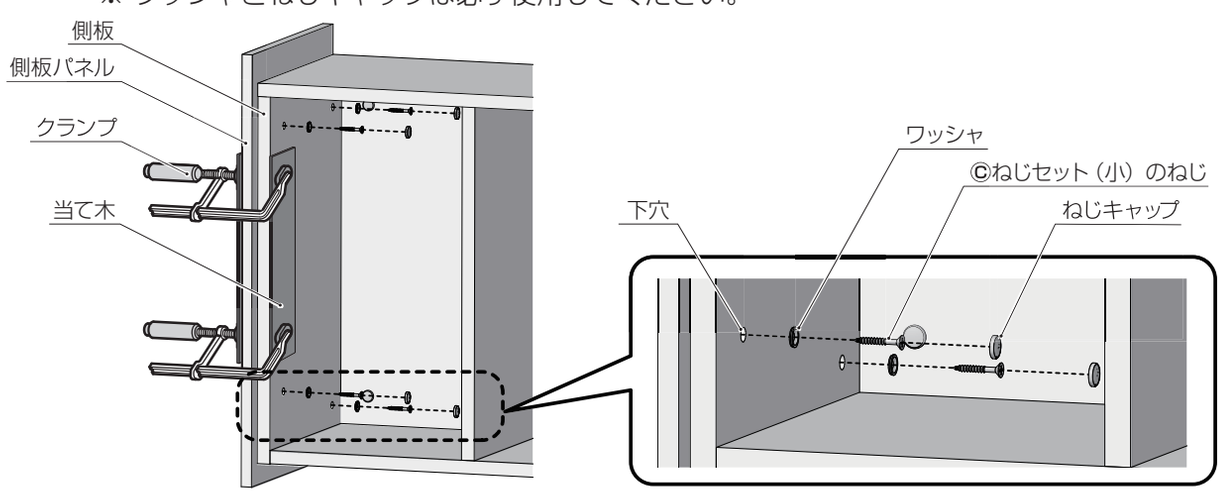
③ 側板パネルの固定

1. 位置が決まったら、作業中に側板と側板パネルがズレないようクランプでしっかりと固定してください。

※ 表面を保護するため、クランプとパネルの間に当て木や保護シートを挟んでください。

2. ©ねじセット（小）のねじに付属のワッシャを通してキャビネット内側から固定し、ねじキャップを被せて仕上げてください。

※ ワッシャとねじキャップは必ず使用してください。



【天袋タイプの場合】

❶ キャビネットの位置決め

① 取付用墨出し

仕上がり床面を基準に、キャビネットの下端（または上端）の位置に墨出しをおこなってください。

② 壁面固定用下穴加工

キャビネットの背板に壁固定用ねじの下穴を開けてください。必ず下穴の位置に背板の芯材があることを確認してください。

※ 下穴位置はキャビネット下穴位置一覧（***P9***）をご確認ください。

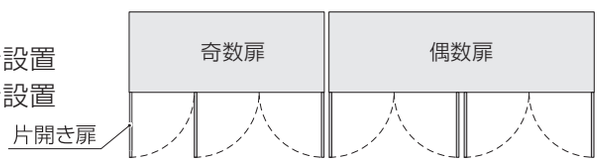
《7 ～ 10 枚扉（連結）の場合》

● 7、9 枚扉の場合、2 台のキャビネットの取付位置は、下記をご確認ください。

片開き扉を「左端」にする場合

・左側：奇数扉用キャビネットを設置

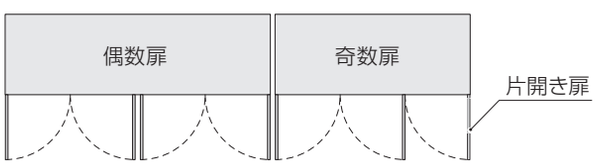
・右側：偶数扉用キャビネットを設置



片開き扉を「右端」にする場合：

・左側：偶数扉用キャビネットを設置

・右側：奇数扉用キャビネットを設置



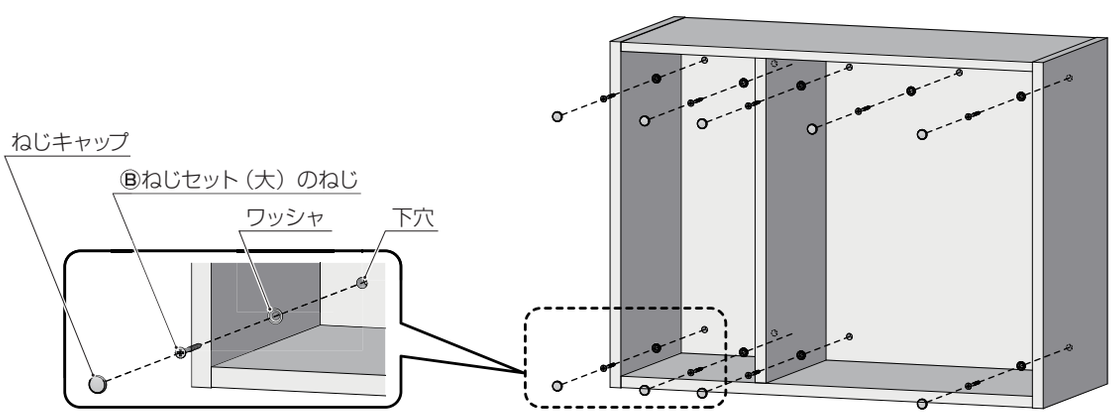
● 8、10 枚扉の場合は、左右どちらに設置しても片開きは発生しません。

❷ キャビネットの壁固定（キャビネット 1 台目）

Ⓑねじセット（大）のねじに付属のワッシャを通してキャビネット壁面に固定し、ねじキャップを被せて仕上げてください。

※ ワッシャとねじキャップは必ず使用してください。

※ 必ずキャビネットの下穴位置に 背板の芯材があることを確認し、壁面に固定してください。



キャビネットを取り付ける際は、壁との左右の隙間（クリアランス）が合計 5mm 以上（片側 2.5mm 以上ずつ）になるようにしてください。

❸ キャビネットの連結固定･壁固定（キャビネット 2 台目）※《7 ～ 10 枚扉（連結）の場合》

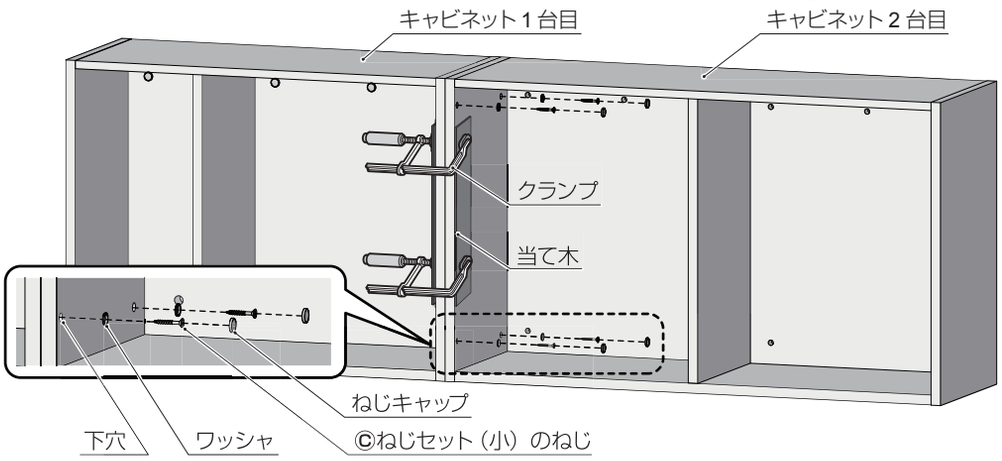
① 2 台目のキャビネットの側板（内側）から、連結用の下穴をあけてください。

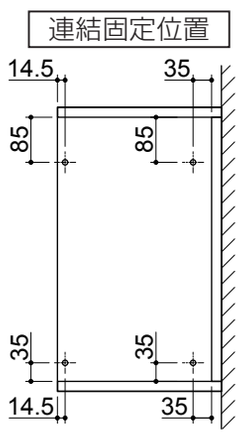
② 1 台目と 2 台目のキャビネットを並べ、全体の取付位置と調整を行います。
※ キャビネットの配置や左右の順序は（***P13***）「《7 ～ 10 **枚扉（連結）の場合**》」を参照し、片開き扉がご希望の位置（左右）になっているか必ずご確認ください。

③ 連結時にずれないよう、キャビネット同士をクランプでしっかりと固定してください。
※ 表面を保護するため、クランプと側板の間に当て木や保護シートを挟んでください。

④ Ⓒねじセット（小）のねじに付属のワッシャを通してキャビネット同士を連結し、ねじキャップを被せて仕上げてください。
※ ワッシャとねじキャップは必ず使用してください。

⑤ 2 台目のキャビネットを 1 台目のキャビネットと同じように、Ⓑねじセット(大)で壁固定してください。

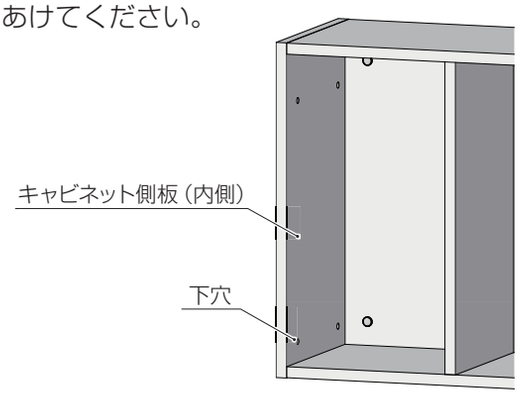


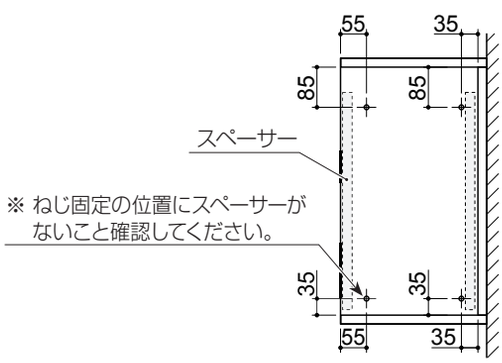


❹ 側板パネル取付け（※ 側板パネル付の場合）

① 側板パネル固定用の下穴加工

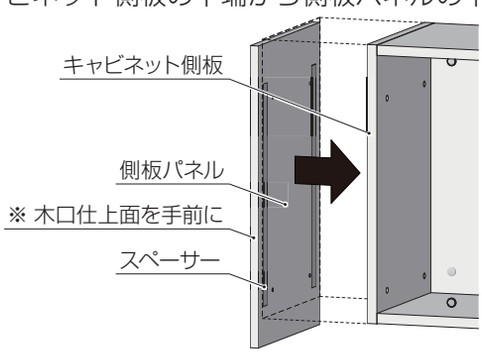
キャビネット側板（内側）から、側板パネル固定用の下穴をあけてください。
※ 下穴は側板パネルに貼付けられたスペーサーを避けてください。下図を確認し、正しい位置にあけてください。

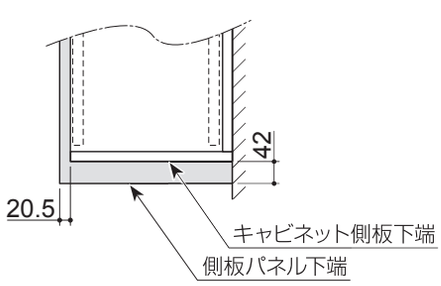




② 側板パネルの位置調整

キャビネット側板に側板パネルを添えて（※ 側板パネルの木口仕上面が手前にくるように）、キャビネット側板の下端から側板パネルの下端まで 42mm になるように調整してください。

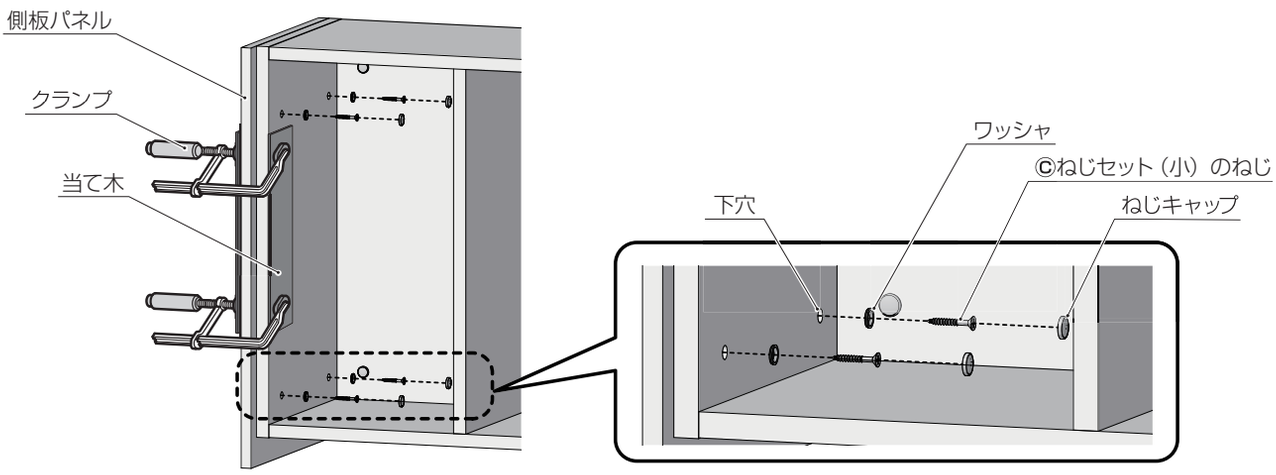




③ 側板パネルの固定

1. 位置が決まったら、作業中に側板パネルがズレないようクランプでキャビネット側板と側板パネルをしっかりと固定してください。
※ 表面を保護するため、クランプとパネルの間に当て木や保護シートを挟んでください。

2. ©ねじセット（小）のねじに付属のワッシャを通してキャビネット内側から固定し、ねじキャップを被せて仕上げてください。
※ ワッシャとねじキャップは必ず使用してください。



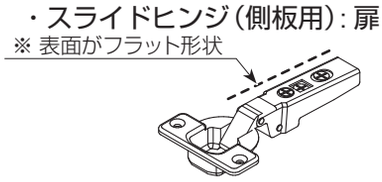
2. 扉の取付け

扉の取付用金具（スライドヒンジ、ソフトクローズ）には「**側板用**」と「**仕切板用**」の2種類があります。金具の取り違えにご注意ください。
（取り違えると正しく取り付けできません）

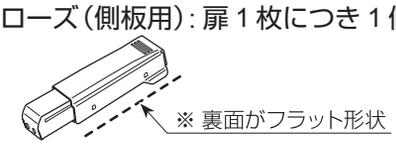
【側板への扉取付け】

■ 使用する取付用金具

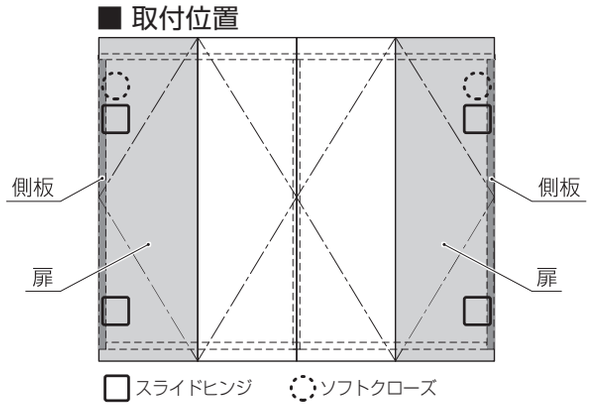
・スライドヒンジ（側板用）：扉1枚につき2個



・ソフトクローズ（側板用）：扉1枚につき1個



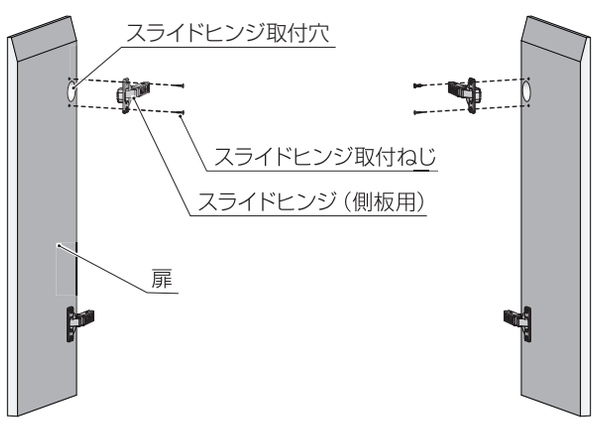
■ 取付位置



❶ 扉へのスライドヒンジの取付け

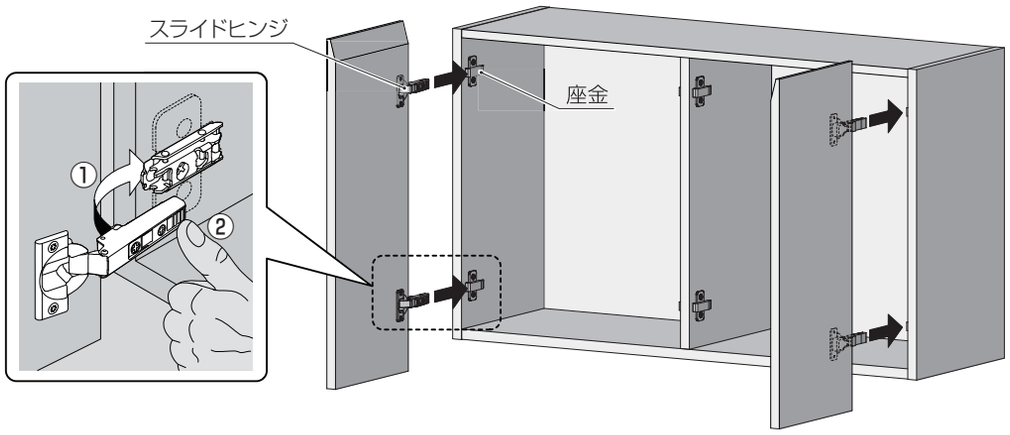
① キャビネット両端に取り付ける扉（2枚）を用意してください。

② 扉裏面の取付穴にスライドヒンジ（側板用）を合わせ、付属のねじで2ヶ所ずつ固定してください。



❷ キャビネットへの扉の取付け

① キャビネット両端の側板についている座金（受け座）の凹み部に、スライドヒンジを合わせます。
② スライドヒンジの先端を、**「カチッ」と音がするまで**しっかり押し込んで固定してください。

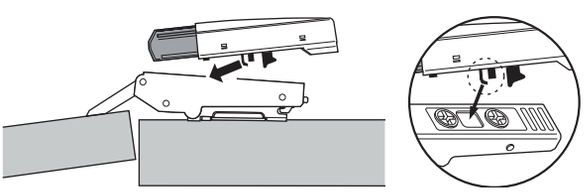


❸ ソフトクローズの取付け・取外し

ソフトクローズは、**扉の上側（天面側）のスライドヒンジにのみ**取り付けてください。
（底板側には取り付けません）

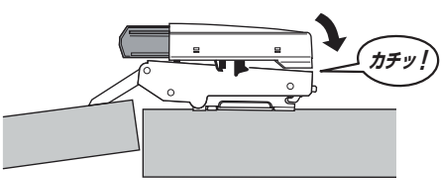
〈 取付け方 〉

1. ソフトクローズ下部の爪をスライドヒンジの角穴に入れソフトクローズ前方を固定し、後方を押し込んでください。
※ 無理に押し込むと茶色の爪が変形してスライドヒンジに取り付けられなくなったり、簡単に外れたりするようになります。絶対に爪を曲げないよう取り付けてください。



ソフトクローズ下部の爪をスライドヒンジの長方形の穴に当て、手前側（扉側）に少し押してください。

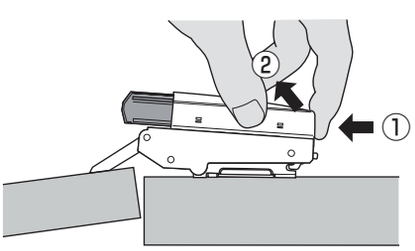
2.「カチッ！」という音を確認してください。



上から少し押すと取付完了です。簡単に外れたりしないことを確認してください。

〈 取外し方 〉

1. ソフトクローズ先端部を上に持ち上げながら① ②の順に手前に引いてください。
※ 必ず作業用手袋を着用してください。



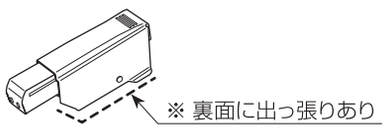
【仕切板への扉取付け】

■ 使用する取付用金具

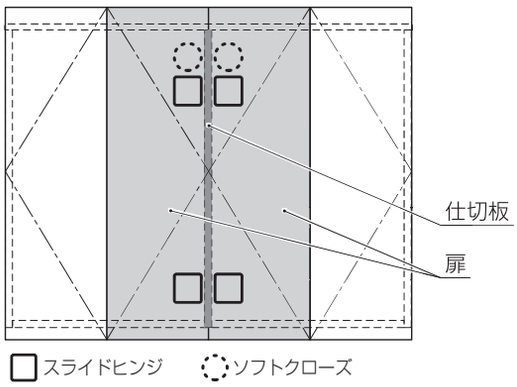
・スライドヒンジ（仕切板用）：扉 1 枚につき 2 個



・ソフトクローズ（仕切板用）：扉 1 枚につき 1 個



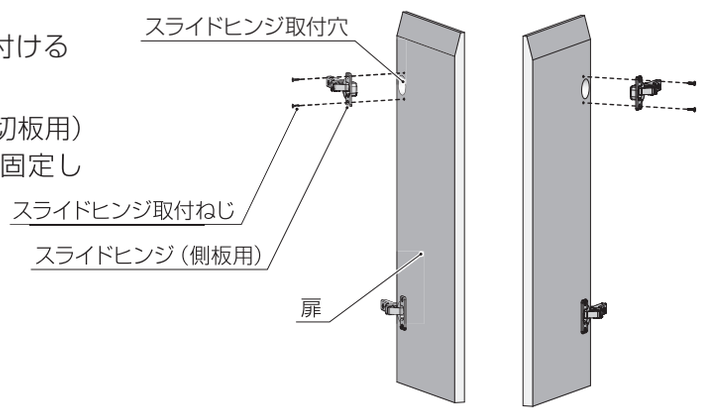
■ 取付位置



❶ 扉へのスライドヒンジの取付け

① キャビネット中央（仕切板）に取り付ける扉を用意してください。

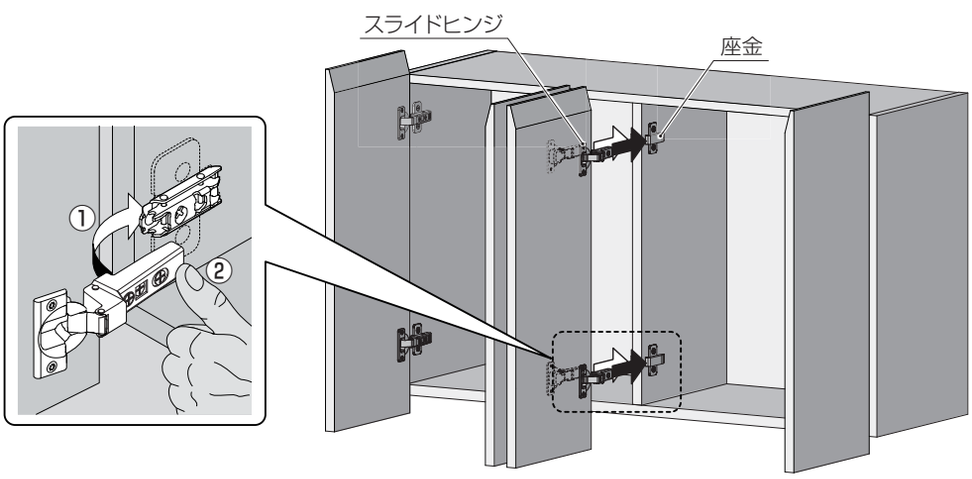
② 扉裏面の取付穴にスライドヒンジ（仕切板用）を合わせ、付属のねじで 2 ヶ所ずつ固定してください。



❷ キャビネットへの扉の取付け

① キャビネット中央の仕切板についている座金（受け座）の凹み部に、スライドヒンジを合わせます。

② スライドヒンジの先端を、**「カチッ」と音がするまで**しっかり押し込んで固定してください。



❸ ソフトクローズの取付け

ソフトクローズは、**扉の上側（天面側）のスライドヒンジにのみ**取り付けてください。
（底板側には取り付けません）

※ 設置手順は P16- ❸「ソフトクローズの取付け」をご参照ください。

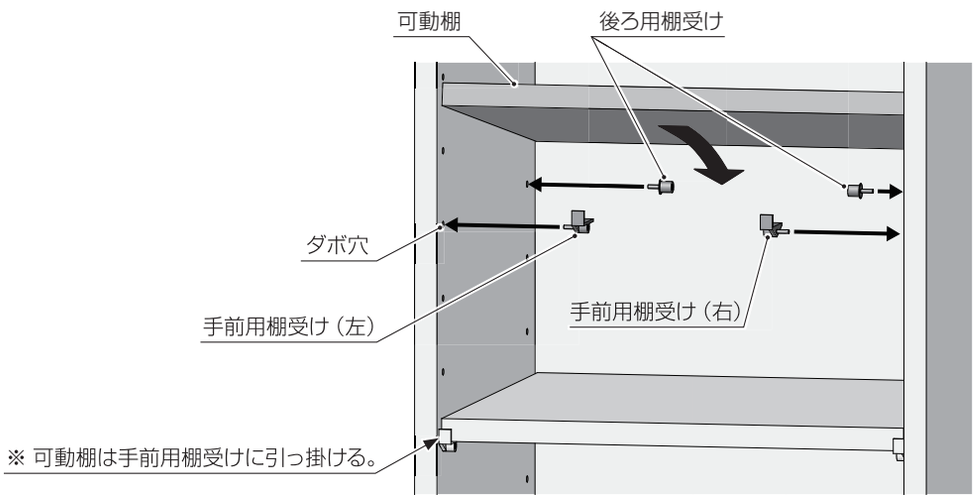
3. 棚板の取付け

① 側板のダボ穴に棚受けを取り付けてください。

※ 棚受けは手前用（右・左）と後ろ用があります。

※ 棚板の脱落防止を防ぐため、棚受けは必ず奥まで差し込んでください。

② 可動棚を取り付ける際、手前用棚受けの返し部分に引っかかるように設置してください。



棚板の適合にご注意ください。

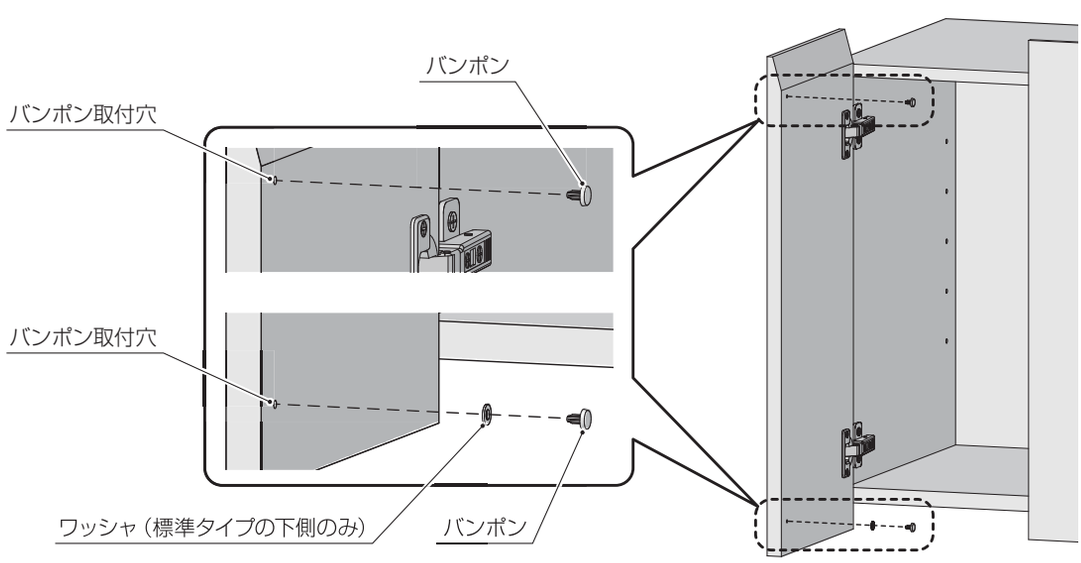
棚板は各キャビネット専用となっています。連結仕様の場合、左右のキャビネットの棚板が混ざらないようご注意ください。（棚板の木口面に説明シールが貼ってありますので、必ず事前にご確認ください）

4. 扉へのバンポンの取付け

扉裏面に空いているバンポン取付穴 2 ヶ所にバンポンを差し込んでください。

※ 標準タイプのみ、**下側バンポンに必ずワッシャを通してから**バンポンを取り付けてください。

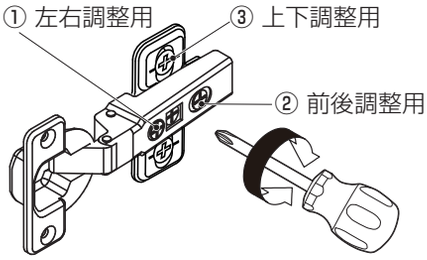
※ 浮きがないよう、しっかり奥まで押し込んで固定してください。



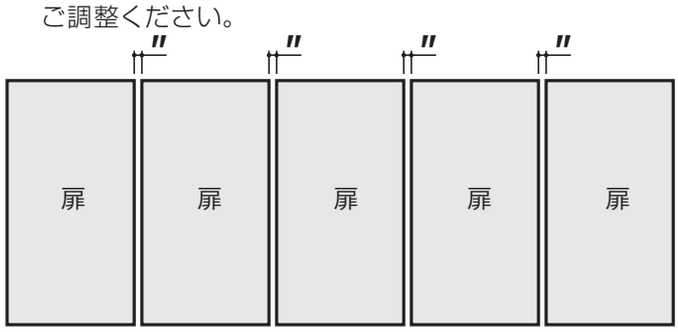
5. 扉の調整

微調整が必要な場合は、スライドヒンジのねじ①②③をまわして調整してください。

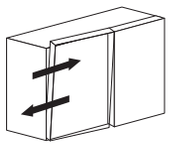
※ 下のイラストはソフトクローズなしのスライドヒンジとなります。



※ 扉と扉のすき間が一定（2mm くらい）になるように
ご調整ください。

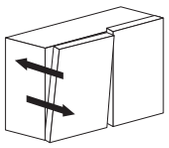


●左右調整（扉の目地をそろえる）



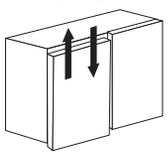
①のねじを右にまわすと外方向に、左にまわすと内方向に動きます。

●前後調整（扉の前後の傾きを直す）



②のねじをゆるめ、扉の前後調整をします。
調整後、②のねじは固く締め付けます。

●上下調整（扉の上下の片寄りを直す）



③のねじをゆるめ、扉の上下調整をしてください。
調整後ネジを締めつけてください。

○ ①②③以外のねじは緩めないでください。
○ 調整後は②③のねじをしっかり固定してください。

4 設置後の調整・確認

《設置後の確認》

● 設置状況の再確認

- 設置完了後は、本体のがたつき・扉のがたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。
- 棚板・扉・通し天板・側板パネルが確実に取り付けられていることを確認してください。
- ソフトクローズを確実に取り付け、機能する事を確認してください。

● 設置後のクリーニング

- キャビネットや扉のホコリ・汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

miratap
株式会社 ミラタップ **miratap inc.**
●お客様相談センター　受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
https://www.miratap.co.jp
TEL：0120-468-838　FAX：0120-382-096